

尾鷲高校生ヒアリング実施結果について

(1) 本ヒアリングの目的

本ヒアリングは、第7次尾鷲市総合計画および総合戦略・国土強靱化計画の策定に際し、尾鷲市のまちの未来を担う若者の意見を抽出し、計画策定や今後のまちづくりの参考にするために行うものとして実施しました。

また、高校生の皆さんにまちづくりの場に関わっていただくことで、高校生の皆さんが尾鷲市の未来を考えるきっかけになるとともに、ふるさと尾鷲市への関心を深め、今後のまちづくりへの参加意識や将来的な定住意識の醸成につなげていくことも期待するものです。

(2) 開催時期・場所・参加者

- ・開催時期：令和2年9月14日月曜日。5時間目にあたる13:05～13:55までの50分間で実施。
- ・開催場所：尾鷲高校 2年1組教室。
- ・参加者：尾鷲高校2年1組、尾鷲市在住の生徒10名

(3) 高校生ヒアリングの内容

本ヒアリングは、事前にヒアリング項目について示したシートを配布し、「尾鷲市の良い点・悪い点」を整理してきていただき、それを基に、10年後の理想の尾鷲市の姿と、理想を実現するために重要だと考える取り組みを検討していただきました。

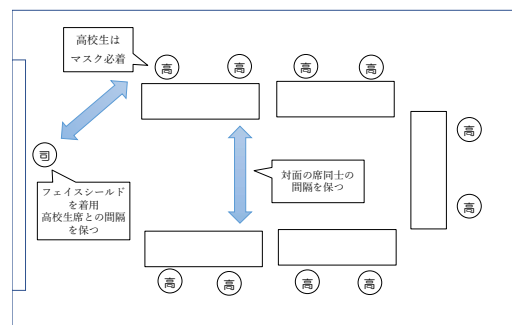
■ヒアリングの流れ・内容

時間	項目	内容	進行
13:05 ～ 13:10	開会	・開会あいさつ ・開催趣旨、総合計画の内容が高校生の皆さんの生活にどのように影響を与えているか等を説明	市・先生
13:10 ～ 13:30	現状整理と10年後の理想の尾鷲	・現在の尾鷲市の良いところ・悪いところを整理・共有。 ・現状を踏まえ、10年後になってほしい尾鷲市の姿を検討。	LB
13:30 ～ 13:50	理想の尾鷲をつくるために必要だと思う取り組み	・理想の尾鷲市を実現するために必要だと思う、取り組みを検討。	LB
13:50 ～ 13:55	閉会	・会の取りまとめ ・閉会挨拶	市・先生

■ヒアリングの方法

ヒアリングの進行の方法としては、新型コロナウイルス感染の観点から、右図のような配席とし、近距離での対面を避けた形での進行を行いました。

発言の方法については、事前に配布していたヒアリングシートの質問項目に沿って、順番・挙手形式で発言していただき、黒板への記入を行いました。



(4) 高校生ヒアリングの結果

①尾鷲市の現状整理

高校生の皆さんが感じている尾鷲にこれまで住んでいて「良い・好きだと感じる点」と、「悪い・不満と感じている点」を考えてきていただき、意見を出し合うことで若者から見た中での尾鷲の現状整理を行いました。高校生の視点から見る、現在の尾鷲の良い点・悪い点についての意見は以下のようにになりました。

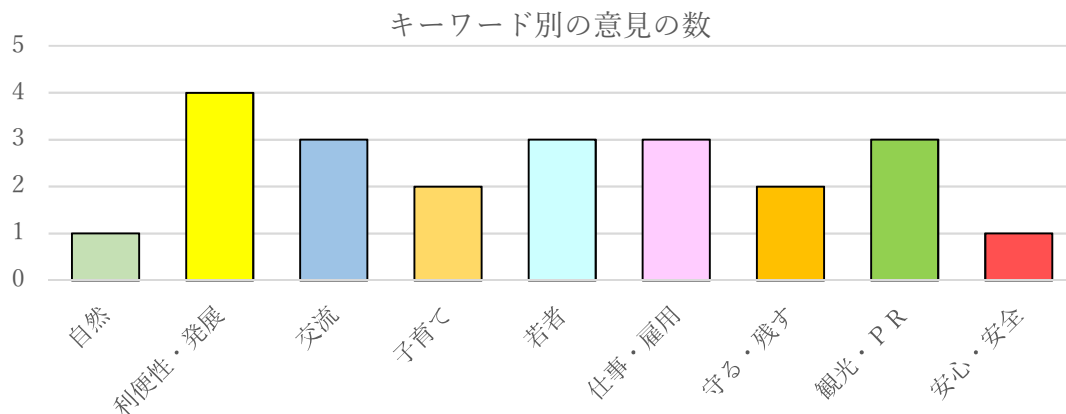
良い・好きだと感じる点	悪い・不満だと感じる点
<ul style="list-style-type: none"> ・自然で遊べる。 ・地域の人が優しい ・魚が美味しい（釣ることができる、新鮮） ・海・山・川などが近い距離にあり、それらの自然をすべて楽しむことができる。 ・川、海がキレイで泳ぐことができる。 ・星が見える 	<ul style="list-style-type: none"> ・若者が遊ぶ場所が少ない。 ・津波（南海トラフ）が心配。 ・電車の本数が少ない。 ・商業施設が少ない（チェーン店、若者向けの店、飲食店等） ・働く場所が少ない。



②未来の尾鷲市の理想の姿

未来の尾鷲市の理想の姿として、市がこうなってほしいという観点から、未来の市のキャッチフレーズとその言葉に込められた意味を検討してもらい、発表していただきました。また配布したシートにも言葉とそれに込められた意味を記入してもらいました。

頂いた意見を分類別に整理・集計した結果、未来の尾鷲市の理想の姿としては以下のようなものがありました。



■ヒアリング時に出た意見

言葉	発展 利便性・	雇用 仕事・	PR 観光・	安全 安心・
・名前の知れた、全国的に有名なまち			○	
・災害に強いまち				○
・買い物や雇用の場の整ったまち	○	○		
・働く場所の多いまち		○		

■ヒアリングシートで提出された意見

言葉	意味	自然	利便性・発展 交流	子育て	若者	仕事・雇用 守る・残す	観光・PR
親が安心して子育てできるまち	少子高齢化が進んでいるので、少しでも親が安心して子育てしたいと思ってほしいから。			○			
たのしく明るく、日常生活を安定したものに	日常に必要なものを市内で買え、毎日の生活のために、働いてお金を得る仕事場がある町になってほしいから。		○			○	
良い所は変わらず、そのまま続いていく	帰ってきてても、悪い所は良くなり、良い所は「変わらないな」と思えるように。					○	
電車が毎分来るまち	電車が毎分来ると楽だから		○				
～おわせ、お母さん化計画～	市全体で、子育てサポートをするという意味が込められている。子育てに協力的になり、若者がもっと移住してきてくれるようになってほしい。			○	○		
後世に残そう尾鷲民	尾鷲以外の人と関わるまちづくりをして、尾鷲民以外の協力で、後世に残せる尾鷲の長所を増やしていきたい。			○		○	
おいしい魚 自然の町おわせ	尾鷲ならではのキレイな海でとれる新鮮でおいしい魚を中心に、尾鷲がどんどん有名になっていってほしい。他の地域でも名前を聞くようなところになってほしい。	○					○
どすごい！おわせの町	これからより良い町になっていってほしいから		○				
若者が集まる にぎわいの町 おわせ	おいしい魚を使った若者も行きやすい飲食店や、尾鷲にしかないものが出来たら良いと思うから。			○	○		○
若者が来たくなくなるような町	尾鷲から出ても、もう一度帰ってきたくなくなる町だと、人口減少の対策になると思うから。また、尾鷲は高齢化が進んでいるので、若者を対象にしていた方が良いと思うから。			○	○		

③取り組みアイデアと実施効果

2番目の質問で考えてもらった、「10年後の理想の尾鷲」を実現するために必要だと思う取り組みについて考えていただきました。尾鷲の良いこと・悪いこと、理想の姿を踏まえ、取り組みを行う理由と取り組みの内容、行うことでどのような効果を得られるかを具体的に考えていただき、若者目線で尾鷲市に必要な取り組みアイデアを検討しました。考えてもらったアイデアを分野別に整理した結果は以下のようになります。

■買い物・飲食店

取り組みの名前	内容	やることでの効果
カフェ	子どもが気軽に行ける低価格のものを売る。建物を新たに作るとお金がかかるので、廃校をリニューアルしたりなど考える。	子どもだけで行きやすい。 子どもの行く場所がふえる。
大型の服店を作る、来てもらう(ユニクロ・GU)	服は季節によって変わるし、数年で着なくなったりする。他地域からもくる	経済 UP 働き口の獲得。

■交通

取り組みの名前	内容	やることでの効果
尾鷲へのツアーバス	例えば大規模イベントが開催されるときに、駐車スペース等も広く必要になるから、バスで来れるシステムを作ってみる。	多くの人々が来やすくなる。 お金を安くおさえることができる。
外へ行くにも、内へ帰るにもアクセスを良く		
都市部へのアクセス充実	都市部への距離が遠いからアクセスを充実する。	来れやすくなる。

■観光・交流・PR

取り組みの名前	内容	やることでの効果
子どもや若者が遊べる、自然を生かした場所。	尾鷲の海や川、山などでのレジャー施設をつくったり、親が安心して子どもたちを遊ばせられるような施設をつくる。	親が子育てしやすい。 若者が多く集まる。
大規模なイベント		
イベント	フェスとか	経済効果
他地域の人々と交流できる施設を作る	尾鷲のものを使って、尾鷲の人との交流現場を作って、話したり、遊んだりできる場所を作る。	地元民では限界が来るので、他地域の人々の力で活性化をはかれる。
イベント作り	町全体でできる大規模イベントを作る。	高齢者が多い尾鷲で、イベント時が最も人が外出するから。
つりぼりをつくる	尾鷲の魚・海を活かしてつりぼりをつくる	観光客 UP 知名度 UP
子どもが遊べるアスレチックや遊園地のような場所をつくる。	木で作ったアスレチックや、少し小さめでも遊園地を作る。子連れの家族向け	他地域からの集客。

■子育て・教育

取り組みの名前	内容	やることでの効果
子どもが生まれたときの支援		
子育てのお手伝い	給付金制度	若者がくる。

小さい子が遊べる町づくり	小さい子が遊べる町づくりを作って、子どもを呼び込む。	都市に比べて車が少なく、浅い川も多くて、子育てしやすいから。
子育てのための支援 UP	子育てをする家庭に支援金をわたす。	尾鷲の人口の増加 子供の数がふえる
幼児向け施設をつくる。	尾鷲のひのきを使った遊具や、尾鷲で作られた食材を使った子ども向けの飲食店。	子育てがしやすい、楽しくなる環境作り⇒人口増加によって活気があふれる。

■ 自然環境

取り組みの名前	内容	やることでの効果
尾鷲ヒノキを使って魅力を引き出す	サミットで使われた尾鷲ヒノキを使う。	尾鷲に興味をもつきっかけになる。

■ その他

取り組みの名前	内容	やることでの効果
SNS で話題になるような場所をつくる。	若者を対象に、目に止まって話題になるような写真が撮れる場所、物を作る。カラフルだったり、奇抜なもの、ざんしんなものを考える。	今は SNS 中心に情報がまわっており、若者がはやりを作っているから、話題になりやすい。

(5) ヒアリング結果の分析

■ 検討された未来の尾鷲市の理想の姿の分析

検討された未来の尾鷲市の理想の姿の傾向を見ると、利便性や雇用といった、日常生活や尾鷲市に住み続ける上で重要となる観点のキーワードが最も多く、次いで若者にフォーカスした理想の姿が多く挙げられました。尾鷲市の豊かな自然環境を未来に残しつつ、生活や雇用の面での発展を遂げ、少子高齢化の社会の中で、若者にとって魅力的なまちを作り上げることで、活性化を図ることが理想とされていました。

また、自然の豊かさや人々の繋がりといった長所を伸ばし・守りつつ、買物・雇用・子育て環境等の面で若者にとって魅力的なまちを作り上げることで、一度まちを出ていった若い世代が帰ってきたいと感じる「ふるさと」となることが理想とされています。

